

平成25年5月9日

各 位

会 社 名 株式会社マネーパートナーズグループ
 代表者名 代表取締役社長 奥山 泰全
 (コード番号：8732 東証第二部)
 問合せ先 取締役 C F O 中西 典彦
 (TEL. 03-4540-3804)

平成25年4月次 月次概況（速報）のお知らせ

平成25年4月次の当社グループの月次概況（連結ベース）を下記のとおりお知らせいたします。なお、営業収益及び外国為替取引預り証拠金は速報値であるため、決算発表時の数値と異なる場合があります。

記

年 月	平成 24 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	508	652	638	485	522	596	396	412	404	482	539	542
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	53,593	78,387	112,254	80,325	83,691	100,449	84,479	81,991	78,794	83,547	105,437	113,982
顧客口座数 (単位：口座)	184,260	186,877	189,570	192,007	194,315	196,680	199,051	201,086	203,125	204,938	206,375	207,859
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	37,732	36,935	39,034	41,341	43,321	42,495	43,576	43,005	42,796	41,718	41,219	41,929

年 月	平成 25 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
営業収益 (単位：百万円)	639	531	333	565								
外国為替取引高 (単位：百万通貨単位)	225,359	231,130	146,144	193,096								
顧客口座数 (単位：口座)	210,010	212,103	213,850	216,178								
外国為替取引預り証拠金 (単位：百万円)	42,139	40,774	39,321	41,940								

- (注) 1. 外国為替取引高は、顧客との相対取引による通貨毎の取引高を原通貨単位のまま合計したものであり、円換算は行っておりません。
 2. 顧客口座数及び外国為替取引預り証拠金は、それぞれ月末時点の口座数及び残高であります。
 3. 平成20年5月より代用有価証券の取扱いサービスを開始し、外国為替証拠金取引に使用できる代用有価証券の預り残高が発生しておりますが、現時点では外国為替取引預り証拠金の残高と比べ重要性が小さいため記載を省略しております。
 4. 平成20年6月から平成25年2月まで外国為替証拠金取引システムのホワイトラベル提供に伴う実績数値が発生しており、当該数値を以下のとおり取り扱っております。

- (1) 営業収益 : ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益を含めて表示しております。なお、当該収益の会計処理は、当社グループ会社をカウンターパーティとする外国為替取引に係るトレーディング収益を営業収益として全額計上した上で、当社グループ会社からホワイトラベル提供先に対して支払うべき外国為替取引に係る手数料を販売費・一般管理費に計上する方法によっております。なお、ホワイトラベル提供に伴うトレーディング収益と当社グループ顧客との外国為替証拠金取引に伴うトレーディング収益を区分することができないためこれらを区分しておりません。
- (2) 外国為替取引高 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社をカバー取引先とする外国為替取引を含めて表示しております。なお、当該取引高は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。
- (3) 顧客口座数 : ホワイトラベル提供に伴う口座数は含まれておりません。
- (4) 外国為替取引預り証拠金 : ホワイトラベル提供に伴い発生する当社グループ会社がカバー取引先として受け入れる預り証拠金を含めて表示しております。なお、当該金額は提供先の重要情報に該当するため区分して表示していません。

5. 平成21年7月より株式会社大阪証券取引所の開設する取引所外国為替証拠金取引（愛称「大証FX」）のマーケットメイカーとしての業務を開始しており、大証FXにおける取引高及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
6. 平成23年8月より差金決済取引（CFD）の取扱いを開始しており、CFDにおける預り証拠金、取引高（原取引単位を米ドルに換算）及びこれに伴うトレーディング収益はそれぞれ「外国為替取引預り証拠金」、「外国為替取引高」及び「営業収益」に含めて表示しております。
7. 平成25年3月次の営業収益及び外国為替取引預り証拠金について、数値の確定に伴う修正を行っております。

< 4月次の概況 >

4月の外国為替市場は、米ドル/円については、1ドル=94円前半で取引が始まり、北朝鮮の核兵器に関する報道を受けてのリスク回避の動き等から一時92円台半ばまで円高が進展する局面があったものの、4日の日銀金融政策決定会合で追加緩和策が決定されると急ピッチで100円目まで円安が進展し、その後は中国の景気減速懸念やポストンマラソンにおける爆破事件を契機とするリスク回避の動き等によって95円台後半まで円高が進展する場面があるなど値動きの荒い状況が続き、97円台半ばで月末を迎えました。米ドル/円の変動率は、平成21年3月以来の高い水準になりました。また、米ドル/円以外の主要な取扱い通貨である欧州・オセアニア通貨についても、クロス円通貨ペアについては概ね米ドル/円と同様の相場展開となり、米ドル/円を含めた全体としての変動率は平成22年5月のいわゆるギリシャ・ショック以来の高い水準となりました。

このような状況の中、変動率が前月を大きく上回ったこともあり、外国為替取引高は、前月比約32%増加の193,096百万通貨単位となりました。一方、営業収益は、相対的に取引高当たり収益性の低い米ドル/円の取引高割合が前月から更に増加したものの、変動率の高い環境下におけるカバー取引手法の最適化等の取り組みやユーロ/円のスプレッド拡大の効果もあり全体の取引高当たり収益性が前月と比べ改善し、前月比約69%増加の565百万円となりました。また、顧客基盤については、顧客口座数は円安の進行に伴う外国為替証拠金取引への注目の高まり等により顧客口座数は前月比2,328口座増加の216,178口座となり、外国為替取引預り証拠金は顧客の増加による預託金の増加や5月の連休に備えての預託金の積み増し等により前月比2,618百万円増加の41,940百万円となりました。

なお、平成26年3月期の販売費・一般管理費は、楽天証券株式会社に対するホワイトラベル提供の終了や前期に実施したシステム投資の投資効果等により、平成25年3月期と比べ減少することを見込んでおります。平成26年3月期第1四半期以降の動向については、本日公表の決算補足説明資料「2013年3月期決算説明会」の13ページをご覧ください。

以 上